

日蓮大聖人御書全集

まつのだのごへんじ

松野殿御返事

りんじゅうみようかく こと

（臨終妙覚の事）

新版
1996

まつのどのごへんじ りんじゅうみょうかく こと

松野殿御返事（臨終妙覚の事）

けんじ ねん がつ にち

建治 3 年 ('77) 9 月 9 日

さい まつののろくろうざえもん

56 歳 松野六郎左衛門

がもくいつかんもん あぶらいっしょう ころもひと ふでじゅつかん た そうろう

鵜目一貫文・油一升・衣一つ・筆十管、給び候。

いま はじ おんころざし もう っ そうら ほけきよう

今に始めぬ御志、申し尽くしがたく候えば、法華経・

しゃかぶつ まか たてまつ そうろう

釈迦仏に任せ奉り候。

さきだ もう そうろう ざいけ おんみ よねん

先立つてより申し候、ただ在家の御身は、余念もなく

にちやちようせきなんみようほうれんげきよう とな そうら さいごりんじゅう とき

日夜朝夕南無妙法蓮華経と唱え候いて、最後臨終の時を

み たま みようかく やま はし のぼ しほう ごらん ほうかい

見させ給え。妙覚の山に走り登り、四方を御覧ぜよ。法界

じやつこうど るり じ こんじよう やつ

は寂光土にして、瑠璃をもつて地とし、金縄をもつて八つ

の道をさかい、天より四種の花ふり、虚空に音楽聞こえ、

もろもろ

ぶつぼさつ

みなじようらくがじよう

かぜ

たま

われ

諸の仏菩薩は皆常楽我浄の風にそよめき給えば、我らも

かなら

かず

つら

ほけきよう

おんきよう

必ずその数に列ならん。法華経は、かかるいみじき御経に

そうろう

いさい

急

そうろう

もう

ておわしまいらせ候。委細はいそぎ候あいだ申さず

そうろう

きようきようきんげん

候。恐々謹言。

けんじさんねんひのとうしくがつこのか

にちれん

かおう

建治三年丁丑九月九日

日蓮

花押

まつのだのごへんじ

松野殿御返事

お

もう

そうろう

もくれんじゅじゅうりよう

た

そうろう

追って申し候。目連樹十両ばかり給ひ候べく

そうろう

候。